

受付番号	令和8年2月19日
/	午後3時56分受領

令和8年2月19日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 渡辺 秀敏

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
地域支え合い体制の推進について	<p>少子高齢化・人口減少の中において地域での支え合いの体制づくりが今後ますます重要になるが、以下の事項について現状における評価・分析及び課題と対策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民協働 2 今年度の新設した自治会活動応援型補助金の有効性 3 高齢者世帯の孤立化の防止 4 災害時における共助の促進 	市長
健康長寿のまちづくりについて	<p>高齢化社会において、健康寿命の延伸は、生き生きとした暮らしや地域全体の活力の維持をもたらすだけでなく、医療や介護にかかる費用の削減にもつながる。以下の取り組みについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康診断の受診率向上の取り組みと未受診者への対応 2 介護予防の促進 3 ウォーキングや生涯スポーツの普及 4 現在策定中の第4次胎内市健康増進計画の方向性と指針 	市長
DX化の有効性について	<p>DX導入により住民サービスの向上と業務の効率化が図られているが、以下の事項について現状における評価・分析及び課題と対策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 書かない窓口 2 キャッシュレスサービス 3 コンビニ交付サービス 	市長

受付番号	令和 8 年 2 月 20 日
2	午前 8 時 30 分 受領

令和 8 年 2 月 20 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
病院への支援について	<p>新聞紙上で、病院の経営難について報道される中、2月9日に黒川病院及び中条中央病院を視察した。両病院において利用患者、勤務職員ともに市内の割合が40%を超えていて地域の大切な病院である。一方で職員確保が困難な状況にあり、更に物価高騰で経営が厳しい状況にあると聞いた。次について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両病院への市の支援の実態は。 2 今後の両病院への支援について。 3 医療人材を確保するため人材紹介会社を利用した際の人材紹介手数料の助成をしている市町村があるが、支援できないか。 	市長
外国人の状況について	<p>今回の衆議院議員選挙で外国人の対応について争点になったが、市内の外国人の状況が気にかかった。外国人の現在の状況を知り、できることがあったらしていきたいと考え質問する。</p>	市長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
<p>民生委員児童委員 について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 国別・年齢別・性別人数。 2 学生・労働者・その他の人数。 3 工業団地の近くで、休みの日も朝 7 時頃から通勤していたり、夜 9 時頃に帰っていく様子がみられるが、労働実態を把握しているか。 4 町内と良好な関係を築いていくために、市としてどのような取組を行っているか。 <p>民生委員児童委員の一斉改選が行われ、12月1日付けで厚生労働大臣より委嘱されたと、市報たいない12月1日号に掲載された。地域の身近な相談相手として、なくてはならない方たちで、ご苦勞も多いことと存じますが、市民から「電話番号が載っていないのはなぜか」の問い合わせがあった。市の考えについて何う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民生委員児童委員の制度について 2 市として期待する役割について 3 連絡先を掲載しない理由について 4 今後の課題について 	<p>市長</p>

受付番号	令和 8 年 2 月 20 日
3	午前 9 時 30 分 受領

令和 8 年 2 月 20 日

胎内市議会議員 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 坂上 隆夫



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
福祉まると相談窓口について	<p>令和元年から新たに包括的な相談支援を担う、福祉まると相談窓口が開設されました。制度の枠を超えた、困りごとの相談に応じ、あらゆる制度や社会資源を活用し適切な支援につなげる役割を担うとしているが、事業の内容について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の利用件数、相談内容、特に相談件数が多い月などあるのか。又、問題解決に至ったケースはあるのか。 2 相談は、本人や親など、どのような方が利用しているのか。また、来庁、電話、訪問など、どのような方法での相談があるのか。 3 令和元年から開設し 7 年目になるが、開設当初と最近での相談内容の変化などはあるのか。 4 相談窓口での補聴器の利用状況は。 5 市民への周知については、市報の相談コーナーに掲載されているが、他の方法でも周知しているか。 	市長
教育環境について	<p>全国的に少子化が進んでいる中で、市でも少子化が進み、児童生徒が減少している。胎内市中学校再編検討委員会では、中学校の 10 年後の統合に向けて、様々な課題を検討している中で、学校の統合に関する方針（案）では、中学校間の交流活動の充実を掲げているが、このことについては、小学校にも当てはまると考える。統合までの間も児童生徒は減少する状況にある中で、学校で行う行事にも影響があると考え、見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今の体育祭や運動会、文化祭については充実しているのか。児童生徒が減少する中で、今後それら行事の在り方についてはどのように考えているか。 	教育長

	<p>2 市内の児童生徒が共通の意識を持ち、一つのことをやり遂げるといことは、交流活動の充実を図る良いことだと思うが、小中学校の児童、生徒がひとつのことに集中するような行事を行ってはどうか。</p> <p>3 GIGA スクールを活用した学校間の移動を伴わない他校との交流などは行っているか。</p> <p>4 学区を超えた児童・生徒の交流について、保護者においても意識改革が必要と考えるが。</p>	
--	--	--

(2 枚中 2 枚目)

受付番号	令和8年2月24日
4	午前11時29分受領

令和8年2月24日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 増子 達也

一 般 質 問 通 告 書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
今冬の降雪について	<p>今冬は1月から2月にかけて強い冬型の気圧配置や寒気の影響で長期間にわたり降雪に見舞われ、大雪になった日もある。また、山間部や山沿い地域においては2回目の雪下ろしを行った世帯もあり、昨年に続き相当量の降雪があったと認識している。今冬の降雪による被害等について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 降雪による家屋等の被害はあったか。 2 落雪や雪下ろし・除雪等で人的事故はあったか。 3 空き家の雪下ろし実施状況は把握しているか。また倒壊などはあったのか。 4 胎内市要援護世帯雪下ろし助成事業について対象世帯は何世帯か。また申請率は何パーセントか。 5 胎内市要援護世帯雪下ろし助成事業の委託について、次の3つについて伺う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 委託先の個人と法人の割合は。 ② 委託料に個人と法人の場合、違いがあるがその理由は。 	市長

(2枚中1枚目)

質問項目	質問の要旨	質問の相手
胎内スキー場について	<p>③ 雪下ろしは危険な作業になる場合が多いが、安全対策はどのように行っているか。</p> <p>6 当市または社会福祉協議会が行う除雪に関する助成事業の利用状況はどの程度か。</p> <p>今冬においては、年末までにオープンできなかった胎内スキー場も、年始早々から営業が可能となり、その後に十分な雪に恵まれた。営業日数もある程度確保できた現状をまずは喜ばしく感じている。胎内スキー場の運営状況と今後について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今冬の入込客数の速報値は。 2 今シーズン行った主なイベントは。 3 県内スキー場においてグリーンシーズン（夏季）の開発が進んでいる。胎内スキー場の利用者からもグリーンシーズンの利用を望む声も聞こえている。グリーンシーズン利用の考えはあるのか。 	市長
選挙について	<p>令和7年7月20日投開票の参議院選挙、令和7年9月14日の胎内市長選挙、令和8年2月8日の衆議院選挙が行われた。約半年間で3つの選挙が行われた事になるが、全国的に年々投票率が低下傾向にある中、胎内市で行われた選挙ではどのような傾向が見えてきたのか。また今後の方針について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 3つの選挙における投票率はどの程度か。 2 選挙管理委員会で投票率をあげる試みはあったか。 3 直近の衆議院選挙では、入場券の配布が遅れたようだが、期日前投票における混乱はなかったか。 	選挙管理委員長

受付番号	令和 8 年 2 月 25 日
5	午前 8 時 40 分 受領

令和 8 年 2 月 25 日



胎内市議会議長 八幡元弘 様

胎内市議会議員 小野徳重

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 62 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
農業水利施設の点検整備について	<p>農業が持続的に発展し、米や野菜などの農産物の安定供給及び環境保全など、多面的機能の発揮という役割を果たしていくためには、水源を確保して適切な時期に必要な量の農業用水を作物に供給するとともに、生育を阻害しないよう適切に排水することが必要不可欠である。</p> <p>水田未整地の農業水利施設（U字溝用水路）の目地の欠落、ひび割れなど老朽化した施設の点検整備はどのように行われているのか伺う。</p> <p>また、今後不良箇所の改修予定はあるのか併せて伺う。</p>	市長
女性の能力活用について	<p>少子高齢化が進む当市にあつて、これからも発展を望むならば、女性の潜在能力の積極的な活用が重要と考える。</p> <p>女性が外で働くことについては、フルタイムで働き出世を目指すような働き方、きちんと時間通りに帰宅できる職場、また場合によっては短時間で働きたいというような、多様な働き方の要望がある。</p> <p>また、能力によって女性もきちんと幹部職員に登用されるような体制も重要である。</p> <p>1 ワークライフバランスの確保が大切と思うが、市内にはこのような多様な働き方が選択できる環境にあるとお考えか伺う。</p> <p>2 民間企業に限らず、市役所においても幹部職員に女性が少ないと感じるが、現状についてどのように認識しているのか伺う。</p>	市長

<p>ハラスメントについて</p>	<p>ある市では、ハラスメント撲滅条例を制定しており、ハラスメントの撲滅を宣言するとともに、全市民が撲滅について宣言するように努め、市長、議員などの特別職及び市の全ての職員はハラスメント撲滅に率先して取り組んでいる。</p> <p>言うまでもなく、職員と我々議員は住民のために奉仕する立場ではありますが、住民に対しては当然として、議員同士や職員同士にもハラスメントがあってはならない。市役所が率先してハラスメント防止の取組を行うことは、住民にもハラスメント防止の意識向上につながる。</p> <p>そこで、市としてのハラスメント防止に対する取組みについてどのように考えているのか伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>休職している教職員への対応・メンタルヘルス対策について</p>	<p>令和6年度の文部科学省の調査によると、精神疾患により休職している教員は、7,087人であり、経験の浅い教職員が負担の重い業務を行っていることが理由とされています。教職員に対する支援等がますます重要になってくることから、学校における予防的な取組みをはじめとしたメンタルヘルス対策の充実喫緊の課題である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 当市において長期に休職している教員の人数と理由について伺う。 2 休職に至る前に予防的な取組み、メンタルヘルス対策が大切であると思うが、どのような対策が取られているのか、今後どのような対策が必要か伺う。 	<p>教育長</p>

受付番号	令和 8 年 2 月 25 日
6	午前 9 時 17 分 受領

令和 8 年 2 月 25 日

胎内市議会議長 八 幡 元 弘 様

胎内市議会議員 坂 上 清 一

一 般 質 問 通 告 書



胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
空き家対策について	<p>1 空き家対策の一環として、5年に1度、市内全地区の空き家実態調査を令和7年10月から12月まで市職員が実施したが、調査結果はどのような内容であったか伺う。</p> <p>2 空き家等総合相談窓口が開設してあるが、これまでの相談件数と内容を伺う。</p> <p>3 空き家等解体補助金事業について、相談件数と申請件数について伺う。</p>	市 長
今後の観光施策について	<p>1 観光案内窓口として胎内市の情報提供をするほか、胎内市観光協会の事務局も併設している道の駅「胎内」の中心施設にあたる「たるが橋観光交流センター」の過去3年間の利用者数及び特産品等の売上状況を伺う。</p>	市 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2 胎内リゾートへの玄関口として樽ヶ橋エリアが活性化することが、胎内市に多くの観光客を呼び込むきっかけになると感じるが、市長はどのように考えているのか伺う。</p> <p>3 奥胎内観光の拠点施設である奥胎内ヒュッテが自然災害等により、通年営業出来ない年があったが、令和7年度における営業月数と利用者数を伺う。また、令和8年度の目標とする営業日数と利用者数、新たに計画しているイベント等があるか伺う。</p>	